

總同盟京都聯合會昭和八年度大會ノ件

一日 時 昭和八年十月一日午後二時—五時

二、場所 京都市三條青年會館

三、出席代議員數 三〇名

一、議長 西尾末廣

二、副議長 永井健

三、書記 鷲塚亨、水澤忠夫

四、會場ニ揚ゲラレタルスローガン

一、反動階級勢力ノ粉碎

二、労働組合主義ノ徹底

三、御用團體ノ撲滅

四、物價騰貴ニ伴フ値上

一、議長ノ辭

西尾末廣

最近或學者ガ思想ガ其國ノ重要ナ社會問題トナツテ居ルノハ其國

ノ恥デアルト言ツテ居ル即チ其國ノ社會現象ガ未發達ノ狀態ニア
ルコトヲ意味スルノデアアル、一國ニアル事件ガ起ツタ場合學者ガ
コレニ理論ツケル爲ニ論說ヲ爲スコトガ一ツノ思想トシテ完成サ
レルノデアアル、思想ガ他國ニ入ツタ場合其國ノ從來ノ思想トノ間
ニ矛盾ヲ來シ此處ニ問題ガ起ルノデアアル、以上ノ如キ話ヲ聞イテ
思ヒ出スノハ我國ノ労働運動モ思想カラ來テ居ルヨウナ狀態ガ永
ラク續イタ即歐洲大戰ニヨツテ急激ニ勃興シタ日本ノ産業ガ平和
來ト共ニ再ビ急速ニ没落ノ道ヲ辿リ從テ労働條件ノ惡化ヲ來シ勞
働組合ハ非常ナ勢デ進興シタ、當時丁度ロシア革命起リ日本ニ於
テモ其影響ヲ受ケ思想問題ガ盛ントナツタ、運動者モ當時ノ書籍
ヲ讀ンデ理論的トナリ理論家ガ尊敬サレ又組合ハ主義ヲ看板トシ
テ労働者ノ組織ヲナシタ如斯過去ノ組合運動ニ於テハ思想ガ重要
ナル役割ヲシタ面シテ我總同盟ハ比較的現實的ナ立場ヲ採ツテ來
タ其點デハ他團體ヨリハ進歩シテ居ルノデアアル、現在労働組合運